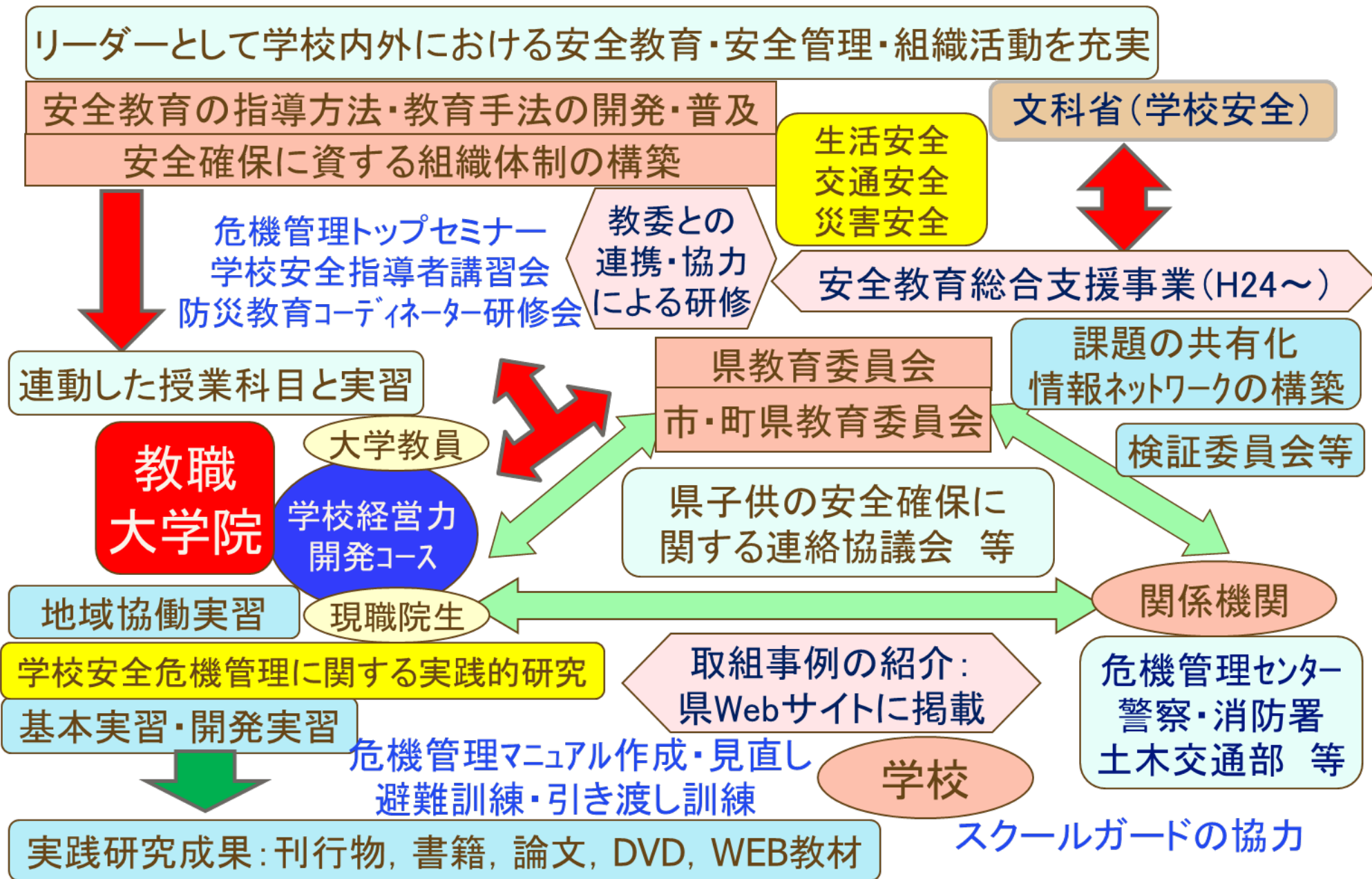


地域と連携した学校安全・危機管理の対応能力向上



研修開発実習により研修の企画・運営の力量を高揚

ねらい：現職教員院生が県総合教育センターでの研修に参加し、**指導補助員を経験する**。また、実際に**研修の企画・運営を体験**する。これらを通して、研修の企画運営力を養う。

実習時期：1年目の夏季休業中

実習内容：

- 〔講義〕「総合教育センターの役割と各研修について」（総合教育センター資質向上係長より）
 - 総合教育センターのオンデマンド型オンライン研修の受講
 - 研修に指導補助員として参加（事前指導・事後指導を含む）※下記は実際に参加した研修
 - ・初任者研修〔小学校〕
 - ・「読み解く力」国語科授業づくり研修〔中学校〕
 - ・特別支援教育課題別研修
 - ・ICTも活用する観察・実験ビギナーズ研修 など
 - 模擬研修（研修を企画、実施し、研修指導主事等から指導助言を受ける。また大学において、院生・学部生を対象に模擬研修を行う。）
 - 研修開発実習報告会（実習での学びを踏まえ、企画した研修の内容を発表し、総合教育センターの次長・資質向上係長、大学教員から指導助言）
- ※事前にオリエンテーションを行い、心構えや手順等を念頭におき、事後には省察会を行う。

経験した学生の声：

校内研究・研修を進める際、校内の先生方に対して細やかな配慮を行い、また、先生方のニーズを把握し、一人ひとりに寄り添った研修を企画・運営ができるように、実習での学びを生かしたい。



教育委員会実習により行政からの視点を学ぶ

ねらい：現職教員院生が県および市町教育委員会等の教育行政機関において、**学校訪問での指導助言の参観**、教育委員会主催の**研修会や協議会の運営補助等**を経験することで、教育活動を多角的な視点から省察する。

実習時期：1年目の1～2月

実習内容：

○県の幼小中教育課（2日間）と現任校所在地である市町教育委員会（2日間）

- ・ 県市町の教育に関する講話（教育長，課長，参事）
- ・ 教育委員会，業務に関する説明
- ・ 学校訪問の随行（授業改善等に係る指導 等）
- ・ 事業，協議会等の準備，資料作成の支援，参加（協議会の司会・受付・運営等）
- ・ 教育センター・教育研究所の業務支援（研修会の補助等） など

※事前にオリエンテーションを行い、心構えや手順等を念頭におき、事後には省察会を行う。

経験した学生の声：

- ・ 主任や教頭を対象とした研修に関わってみて、そこでの学びを末端の教員にまで伝える難しさを感じた。
- ・ 市町の教育委員会では人数も十分にいないなか、各学校の情勢をすみずみまでわかったうえで対応策を講じてくれているいたり、まず動くという姿勢を大切にしていることを感じて、現場の教員たちにもそうした努力に応えることの重要性を伝えていきたいと思った。

ダイバーシティ教育力開発コース—地域の多様な教育的ニーズに対応できる教員の養成—

発達上の課題や障害、いじめ・不登校、虐待、外国人児童生徒、幼小連携等、多様な教育的ニーズに対応できる高度な専門性を身につけ、その専門性を活かして学校教育に貢献する教員を養成します

教育学・心理学関連の理論の知

ダイバーシティ教育の理論と実践
スペシャルニーズ教育の理論と実践
特別支援教育の臨床的探究
外国人児童生徒教育の理論と実践
心理的アセスメントと子どもの支援
幼年教育の理論と実践
障害児の音楽活動と支援…ほか

授業科目

研究者教員と
実務家教員の
緊密な協力

融合

実習科目

教育委員会等と密接に連携

子どもの育ちを広い視野から的確に捉えて、
発達や心の健康を支える専門性を備えた教員

教育実践課題解決研究

ダイバーシティ教育発展実習

研究課題を事例的に探究・検証

心理アセスメント実習

附属学校園での発達検査や巡回相談に参加

特別支援実習

特別支援学校での児童生徒の発達や障害特性に合わせた授業づくり

フィールドワーク実習

外国人児童生徒日本語初期指導教室、少年鑑別所、障害児(者)支援施設、
適応指導教室等、多様なフィールドでの対応や学校との連携について学ぶ

ダイバーシティ教育基本実習

幼稚園と小学校（通常の学級・特別支援学級）で、個別最適な学びや
交流及び共同学習の実際について学ぶ

現場で生成される実践の知

